

公表：令和6年4月1日

アンケート期間：令和6年2月10日～令和6年3月10日

事業所名 ひ～す2

保護者等数（児童数）16 回収数14 割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					近くの公園を有効活用している。また体育館も利用しながら十分な活動に繋げていく
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%					
適切 な支 援の 提 供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%					
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					ご家庭との連絡を密にしながら、今後も一人ひとりにあった支援を考えていく。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	50%				地域活動を積極的に取り入れながら、地域の子どもたちとの交流につなげていく。
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				子どものことを一番に考えその都度様子を教えてください。	家庭との連携・連絡を大切にしながら一緒に考え育てていきたいという思いで関わっていきます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				保護者に対してのケアがとても助かっています。些細なことでも相談に乗ってもらえ、悩まずにすんでいます。	その都度電話や面談等でお話をさせていただいておりますが、今後もその機会を大切にしたいと思っています。

保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	100%				ママ友び〜すが開催され、保護者同士でつながれたり、みなさんの悩みに共感できてとてもよかった。	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				送迎時などもスタッフの方が必ず一声かけてくださり、みなさん話しやすい雰囲気を大切にされている。	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				毎月のび〜すだよりがとても良い。ホームページが常に更新されている。	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%					
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94%	6%				BCPを使って契約時やモニタリング時に、保護者に再確認していく
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	94%	6%				避難訓練は2カ月に1回集団活動として実施しています。び〜すだより等様子をお伝えするようにしている
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				楽しくてび〜すなくては生活できないと思う。お休みするという選択肢はほぼありません。	魅力ある事業所となれるよう精進していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%				大満足です。たくさんの方にび〜すを知ってほしい。いつも楽しそうで安心しています。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等サービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 ひ～す

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%			近くの公園を有効活用する。体育館と第2ぴーすを活用する。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%				今後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%		玄関の段差は十分注意をしている	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%				PDCAサイクルを職員全体で意識し共有しながら円滑に活動できるようにする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			社労士による研修と評価を実施している	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			社労士による研修と評価を実施している	

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者のニーズに寄り添っている	モニタリング毎にケース会議を行っている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			保護者との面談を定期的に行っている。	
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			子どもが好きな遊び、やってみたい遊び等職員が出し合って決めている。	プログラムのマンネリ化を防ぐよう配慮しながら計画を作成している。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			遊びを発展出来るようにしている。	曜日で利用してる子への配慮を心掛けながら計画を作成している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	86%	14%		どようび～すは社会体験の機会として、いろいろな体験ができるように工夫してる。	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			1人ひとりに合わせた個別活動の時間を設けている	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			開始時に毎日ミーティングの時間を設けている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			職員間で一日の振り返りが徹底されている	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			タブレットで記録し、他の職員が振り返りができる	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			定期的にモニタリングを行っている	関係機関との連携し、モニタリングに同席させてもらうなど一貫した計画となるよう努めている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			研修等でガイドラインの確認をしながら活動内容を見直している		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%					
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			毎月または年間の計画を学校からいただき、行事や下校時間等の連絡調整を行ったり、必要に応じて連絡をとっている。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	71%	29%			医療機関との連携は整っている	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%				必要に応じて情報共有をしている	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86%	14%			まだ例がないが、自立支援協議会等で成人の事業所と繋がりをもっている	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%				研修等積極的に参加している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	57%	43%			イベント等で障害のない子どもとの関わりは取り入れている	

	⑳ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	100%				
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			できるだけ送迎時保護者にその日の様子を伝えるようにしている。必要に応じて面談等を行っている。	
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			個々に相談・アドバイスをを行っている	
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に行っている。	
	㉔ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				その都度電話や面談等での対応を大切にしている。
	㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			イベントを通じて保護者の交流の場を設けている	
	㉖ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			職員間で共有し対応している	迅速な対応を心掛けている。
	㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			様々な活動が伝わるようにHPやおたより等で発信している	
	㉘ 個人情報に十分注意しているか	100%				
	㉙ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	86%	14%			地域活動を積極的に取り入れていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			BCPを策定し職員で共有している	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			2カ月に1回必ず実施している	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				研修計画に基づき実施する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	86%	14%			身体拘束は基本的に考えていないが、やむを得ない場合を想定し考える機会を設けたい
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	86%	14%			対象児が現在いないが、食物アレルギーに関わらず受診後は保護者と連絡取り合い、できるだけ共有するようにしている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。